

<研究課題名>	RF-0903 (RF-093)	日本の落葉広葉樹林におけるメタンおよび全炭化水素フラックスの高精度推定		
<研究概要> 本研究はメタンフラックス連続観測手法の開発のため、近年新たに開発されたキャビティーリングダウン（CRD）分光法を用いた高速メタン計を導入する。CRD分光法は吸収分光法の一つで、鏡の反射によって実効光路長を長くすることにより、二酸化炭素の200分の1以下の大気中濃度であるメタンについて高感度・高速分析を可能とする分析手法である。連続観測手法の開発では高速測器を二酸化炭素フラックス観測の実績を持つ微気象観測手法に適用する。 (1) 日本の落葉広葉樹林におけるメタンおよび全炭化水素フラックスの高精度推定 本研究では国内の落葉広葉樹林において高速測器を用いた長期連続観測手法の開発を行い、この手法と従来の短期的な観測手法の比較観測を実施し、新手法の精度検証を行う。この精度検証と連続観測によって群落メタンフラックスの高精度推定を実現する。				
<研究代表者>		深山 貴文		独立行政法人森林総合研究所主任研究員（37才）
No.	サブテーマ名		氏名	所属機関名・部局・役職名
(1)	日本の落葉広葉樹林におけるメタンおよび全炭化水素フラックスの高精度推定	◎	深山 貴文	独立行政法人森林総合研究所主任研究員